

病院の概要

開設	1948年
開設者	学校法人 東京医科大学
病院長名	小林 正貴
病床数	501床(許可病床)、389床(稼働病床数)
標榜科 (20科)	内科、神経内科、精神科、呼吸器外科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、病理診断科
医師数	116名 (H30.1 現在 常勤)
指導医数	62名(H30.1 現在 丸7年以上 指導医養成講習会受講済)
研修医数	9名
研修医の主な 出身大学	東京医科大学 他
外来患者数	843名/日 (H28年度)
入院患者数	353.3名/日 (H28年度)



応募資格	原則として第113回医師国家試験を受験する者、あるいは医師国家試験に合格し、新たに臨床研修を行う者
採用人数	8名(未定)
試験日程	平成30年7月28日(土) 予定
選考方法	筆記試験(医学、一般常識)、面接
処遇	<ul style="list-style-type: none"> ●身分：常勤医師 ●給与：1、2年次共 約40万円(諸手当込み) ●社会保険：東京医科大学健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険 ●宿舎：有り(単身用・世帯用)

病院の理念

当センターは、建学の「正義・友愛・奉仕」の精神に基づき、患者さま中心の医療を推進致します。

- ・患者さまの権利を尊重します。
- ・医療サービスの向上を図り、患者さまに安全な医療を提供します。
- ・十分な説明と同意のもとに医療を行います。
- ・地域との連携を密にし、地域における医療、保健、福祉を支援します。
- ・人間性豊かで信頼される医療人を育成します。

病院長からのメッセージ 小林 正貴 病院長



東京医科大学茨城医療センターは茨城県南の阿見町に開設された病院で、北北西に筑波山を望み、霞ヶ浦のほとりに位置する水と緑にあふれる自然豊かな環境にあります。当センターは東京医科大学で第二番目に開設された附属病院として、来年には開院70年を迎える歴史を持つ総合病院です。特徴は、先進医療を提供する大学病院であるとともに、地域医療に貢献する地域密着型の総合病院である点です。

当センターは茨城県取手・竜ヶ崎医療圏の基幹病院で、入院ベッドは389床、20標榜診療科を開設しています。2016年度の1日平均入院患者数は353.3名、1日平均外来患者数は843名、全手術件数は3,511件、救急車受入数3,766件の中規模病院です。

総合能力を持つ医師を養成するためには、従来の講座や細分化した診療科という縦割り概念では決して実現することは出来ません。一人一人の希望も取り入れ、満足のいく研修プログラムをもとに行っているのが当センターの研修の特徴です。また、他の医療機関との機能強化を図り、独自の教育プログラムを構築し、医師養成をめざす研修医教育を行っています。また当センターは二次救急指定病院、小児救急(小児救急医療輪番制病院)、周産期救急協力病院、茨城県地域連携がん拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院に指定されており、教育の上でも質の高い研修、そして幅広い患者さんの診療が可能となります。皆で行う総合ER方式をとる救急医療研修も総合診療能力の養成に大いに役立っています。

初期研修医は現在9名で、日夜の診療の中心となって活躍しています。当センターは中規模ながら、大学病院であり地域密着型総合病院だからこそ、診療科さらに部署の垣根を越え、円滑かつ迅速な充実した臨床研修が出来るものと確信しています。私たち教職員と一緒に、茨城医療センターに新しい風を吹かせませんか? 医師としての貴重な第一歩である2年間を是非、当センターとともに歩みましょう。実践的な総合臨床能力をもつ医師を目指す、若い力をお待ちしています。

研修責任者コメント 柳生 久永 卒後臨床研修センター長



東京医科大学茨城医療センターは学校法人東京医科大学の卒前・卒後臨床教育病院です。1学年8名の少人数制を生かし、研修する診療科の順番と時期について研修医の希望度を優先して選択できます。(例：消化器内科で内科疾患を学習してから、消化器外科を研修したい!)。診療科の壁は比較的低く、相談しやすい環境です。科長を含む院内全医師で丸となり対応する阿見総合ER方式で年間約3800件の救急搬送に対応する2次救急診療を行っています。研修医は月4回の当直と1回の日直で、救急車とwalk-in症例を経験し、プライマリケア領域の経験を積み成長します。当直明けは休みです。3次救命救急センターでないため多発外傷、重症熱傷などの症例は少ないですが、筑波メディカルセンター病院、水戸医療センター、水戸済生会病院と連携して当該分野を研修できます。

指導医は教育に対するマインドが高いだけでなく、高度最先端の診療も行っています。院内に共同研究センターが併設されており、文部科学省科学研究費を取得し基礎研究、国際学会での発表、英語論文執筆を積極的に行う指導医もいます。専門医取得を最終目標にするのではなく、大学院に進学し医学博士を取得し学問を深めることも可能です。血液内科、膠原病内科、NICU、心臓血管外科などについては、茨城県内有力病院(茨城県立中央病院、筑波大学病院、ひたちなか総合病院)や、東京医大病院(新宿)、東京医大八王子医療センター(八王子市)と連携しています。地域医療研修は沖縄研修プロジェクト群島の7病院でも可能です。茨城地域研修学生医師の医師不足地域での義務履行を円滑に行うために、茨城県立中央病院とのたすき掛けプログラムも用意しています。充実した研修が行えるように病院全体として支援しています。是非一度見学にいらしてください。

研修医コメント 汲田 英裕



突然ですが、研修医にとって研修する上で最も大切なことは何かご存知でしょうか。もちろん、医師としての基礎を積み上げることも大切ですが、それ以上に大切なことは2年間研修をやり遂げることです。ある報告によれば研修医のうつ病や抑うつ症状の頻度は28.8%だそうです。これは学生から社会人へと大きく環境が変わることも大きく影響していると思われます。

当院で働いてみて一番強く感じることは、この病院は本当に研修医を大切にしてくれる、ということ。それは医療スタッフ一人一人の心遣いだけでなく、当院の研修プログラムにも表れています。研修医の主戦場の一つは当直です。これが少なすぎると経験が不足し、多すぎると体力的に辛い。当院は月に5回と比較的当直回数は多いものの、当直明けは休みとなっているため、当直時はそれに集中して行うことができます。また当院は大変風通しがよい病院であり、困ったことがあればすぐに上の先生に相談できる体制が整えられています。

心身ともに健康でありながら質の高い医療に携われる、それが当院研修プログラムの魅力です。ご興味がある方は一度是非見学に訪れてください。

研修プログラムの特色

※ H31 年度プログラムについては、現在、検討中です。プログラムが確定次第、当センターホームページに掲載いたします。

1. 少数精鋭のプログラム

研修医の募集定員は、1 学年 8 名（2 学年で 16 名）です。
当センターの病床数、指導医数から考えると少ないかもしれませんが、しかしこの定員だからこそ、温かい雰囲気の中できめ細やかな寺子屋式指導が可能です。

2. 基本的初期診療の修得

十分な症例数の下、スーパーローテーション方式で主要科を研修します。
また 2 年間の研修期間を通じ ER 当直を行い、実践的プライマリ・ケアの修得が可能です。

3. 一人ひとりのキャリア形成に則した研修

2 年次には幅広い選択肢を用意しており、キャリア形成を意識したローテーションを選択できます。

4. 屋根瓦式教育体制

豊富な指導医の下、後期研修医が初期研修医を、初期研修医 2 年次が 1 年次を、初期研修医が 1 年間を通して実習している医学生に指導する屋根瓦式教育体制を実施しています。「教えることは、学ぶこと」を日頃から実践して、臨床能力を高めることが可能です。

5. 充実したサポート体制

生き生きとした研修生活を送れるよう、卒後臨床研修センターが全面的にバックアップします。研修医一人ひとりにメンターが付き、相談役として研修生活とキャリア形成をサポートします。

研修スケジュール例

1 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	内科						外科 または麻酔科	救急			選択	
2 年次	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
	麻酔科 または外科	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	選択科目						

内科：呼吸器、消化器、循環器、腎臓、代謝内分泌、感染症より選択 外科：呼吸器、消化器、整形、脳神経、乳腺、泌尿器より選択 外科・麻酔科：研修時期の入れ替え可
地域医療：臨床研修病院群プロジェクト群馬沖縄7基幹病院（沖縄県）、白十字総合病院、いわき内科クリニック、勝田病院、あだち内科クリニック、土浦ペリクリニク、北茨城市民病院、鹿島労災病院
選択科目：当院、東京医科大学病院、東京医科大学八王子医療センター、筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター病院、ひたちなか総合病院、筑波記念病院（以上7施設は全科）、茨城県立中央病院、茨城県立医療大学付属病院、土浦協同病院、宮本病院等
1 年次は茨城県立中央病院にてたすきかけ研修が可能（外科を1年次に研修する）

専門研修の募集について

募集診療科	選考方法
◆基幹施設 内科専攻医プログラム 定員 3 名（予定） サブスペシャリティ領域 消化器、循環器、呼吸器、腎臓、代謝内分泌、感染、神経	書類選考 面接
◆連携施設 15 の基本領域についても、連携施設として専攻医の受入れを行います。 内科、外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、病理、救急科、形成外科、皮膚科、整形外科、小児科、放射線科、眼科、脳神経外科、麻酔科	

※詳細は当センターホームページをご覧ください

研修・認定施設一覧

- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本睡眠学会認定施設
- 日本気管食道科学会研修施設
- 呼吸器外科専門医合同委員会基幹施設
（日本呼吸器外科学会／日本胸部外科学会）
- 日本産婦人科学会専攻医指導施設
- 日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- 日本眼科学会研修施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
- 日本腎臓学会認定施設／研修認定施設
- 日本透析医学会認定施設
- 日本感染症学会研修施設
- 感染症の予防の疑似症に係る医療機関承諾施設
- 日本臨床細胞学会教育研修施設
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本救急医学会専門医指定施設
- 認定輸血検査技師制度指定認定施設
- 認定臨床微生物検査技師制度協議会研修施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化器集団検診学会認定指導施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設
- 日本内視鏡学会指導施設
- 日本外科学会修練施設／専門医制度修練施設
- 日本肝臓学会認定施設
- 日本がん治療学会暫定認定施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本胆道学会指導施設
- 日本乳癌学会認定施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設
- マンモグラフィ検診精密管理中央委員会認定施設
- 日本精神神経学会認定施設
- 日本老年精神医学会認定施設
- 日本認知症学会教育施設
- 日本神経学会教育施設
- 日本脳神経外科学会認定施設
- 日本脳卒中学会認定施設／認定研修教育病院
- 日本プライマリケア学会研修認定施設
- 日本内科学会認定施設／認定医制度教育病院
- 日本循環器学会専門医研修施設
- 日本心臓血管インターベンション治療学会研修関連施設
- 日本集中治療医学会専門医研修施設
- 日本麻酔学会認定施設・指導病院
- 日本急性血液浄化学会認定指定施設
- 日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設
- 日本東洋医学会研修施設
- 日本手外科学会研修施設
- 日本形成外科学会認定施設
- 日本皮膚科学会専門医研修施設
- 日本小児口腔外科学会研修施設
- 日本口腔外科学会認定関連研修施設
- 日本医学放射線学会専門医修練機関
- 日本アフレルシス学会認定施設

アクセス



- 電車をご利用の場合 J R 常磐線 土浦駅よりバス 15 分
J R 常磐線 荒川沖駅よりバス 15 分
- 車（常磐自動車道）をご利用の場合 桜土浦インターより 6km

女性医師支援コーナー

グランドカンファレンス・症例検討会の参加率基準の免除
院内保育所（ひまわり）の完備
メンター制度和卒後臨床研修センターの充実したサポート体制
初期研修中に出産育児を行った研修医 2 名実績あり

応募問合せ先 東京医科大学茨城医療センター

〒 300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1
 担当者：卒後臨床研修センター 事務局
 TEL：029-887-1161（代表）
 FAX：029-887-1355
 E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp
 URL：http://ksm.tokyo-med.ac.jp/sotsugo/

病院見学対応状況

★見学時間…随時（平日） ★対象…全学年 ★宿泊…研修医宿舎に宿泊可能（無料・要確認）
★問い合わせ先…担当者：卒後臨床研修センター 事務局 TEL：029-877-1161（代表） E-mail：ksotsugo@tokyo-med.ac.jp